

## クラブ「琉舞」 全3回終了

知念中学校 宮城伸子校長先生を講師に、7月2日にスタートしたクラブ琉舞は、9月8日(火)で全3回を終了しました。会議室に流れる「かぎやで風」の曲。一つ一つの動作を細部にわたって、丁寧にわかりやすく教えていただき、教育研究員の皆さんは、見事に「かぎやで風」を4番まで、踊りきることができました。8月17日(月)に開催された「東雲の会 懇親会」では、新会員として、H26年度後期研究員と一緒に、幕開けで「かぎやで風」を披露しました。

## 【クラブ 琉舞の概要】

第1回	「かぎやで風」	1・2番	7月2日
第2回	「かぎやで風」	1・2・3・4番	8月4日
○	「東雲の会 懇親会」にて披露		8月17日
第3回	「かぎやで風」	仕上げ	9月8日



写真1 講師の宮城伸子校長先生

## 【教育研究員の感想】(研修日誌から)

今日は、最後のクラブ琉舞。クラブもこうして1つずつ最終回を迎えていくことで、修了・退所が近づいているのだなとしみじみと感じました。かぎやで風は、以前に東雲の会で披露する際に少し特訓したせいか、大まかな動きは覚えていました。しかし、宮城先生に細かい姿勢や周り方などを確認していただき、まだまだ正しい姿勢が身につけていないと感じました。短い期間ではありましたが、これまでかぎやで風を踊った経験がなく、とても貴重な機会となりました。お手本を見ずに踊るところまでは達成できなかったのですが、どこかで披露する機会があれば、自分のものにできるよう頑張りたいです。(金城さくら)



写真2 練習風景

クラブで琉舞の3回目がありました。今回で最後となりましたが、今日が1番うまく踊れました。まさか3回でここまで「かぎやで風」ができるようになるとは思いませんでした。やはり指導がいいと上達も早いのだと感じました。伸子先生には楽しく教えていただき感謝でいっぱいです。(大城厚)

クラブ琉舞は、今日で最終回ということで、これまでの総まとめを行いました。前回の東雲の会でのかぎやで風より、上手く踊れた気がします。3回の練習でしたが、伸子先生の的確な御指導のおかげで、うまく踊るコツがつかめ、何とか4番まで自信をもって踊ることができました。ありがとうございました。(長門照乃)

クラブ琉舞の最終回になり、3回という少ない回数でしたが、回数を重ねる毎に踊りが上手くできるようになった気がします。まず始めに、「かぎやで風」の歌詞の意味を準備して頂いた資料を基に再度説明して頂き、その後、声に出しました、「つい」の読み方が意外と難しく、読む難しさを感じました。

その後、伸子先生に足の動き方を教えてもらい、踊り方を覚えようとするあまり、足を大きく動かしてしまうことで踊りにくくしていると指摘されました。琉球舞踊は足や扇子を大きく動かさなくても体の向きや扇子の見せ方で大きく見せるそうです。今後、琉舞を鑑賞する際に、踊りを大きく見せる所作に注目したいと思います。(具志堅智美)

クラブは最後の琉舞でした。基本的な姿勢や歩き方から教えてもらい前回までのものを思い出すことができました。今日は、資料もつくっていただき、少しは歴史的なことも学べて良かったです。

3回のクラブを通じて感じたことは、最初は不安だったけど、3回とも楽しく学べたことです。自分の知らない沖縄の伝統文化に触れることができ、大変貴重な体験ができたことを嬉しく思います。(古屋誠一)